



有限会社 ファイエット
河川浩明 社長

peaceful!

至福のひととき。
地域と、地域に住む人と、
それらすべてに、
生かされること。

左の写真は、三本松の台から瀬戸内海を望む景色だ。この景色をヨーロッパに例えてみる、なんてこと、普通に考えたらおかしいでしょう？が、実はここ、南欧モナコのエズ村というところをモチーフにした風景。ニット製品の製造販売を行う会社『ファイエット』の河川社長が、長年探し続けて得ることができた、思い入れたっぶりの風景なのだ。

「いいでしょう、ここ。以前行ったことのあるエズ村の景色が忘れられなくて。あんなところで毎日生活ができたらいいなあとずつと思っていたんですよ。こんなところで仕事ができるなんて、本当に毎日が楽しくて仕方がないんです」と笑う河川社長。元は横浜生まれの河川社長が、奥様の実家であるこの地に、エズ村を重ねた。その言葉だけを聞くと違和感があるのは拭えないが、しばらく話をしていると、不思議と南欧の風が抜けていくように、感じる。



これが河川社長の思い出の地・エズ村の風景。

それは、河川社長が持っている経営哲学にも通じる、世界観というか空気が醸し出すものだ。



ニット製品加工の様子。「ニットの教祖様」と称されるスタッフが、高い技術力を誇る。



月に一度の週末に、アウトレットブティックとしてのショップをオープン。地元の人を中心に賑わいを見せる。

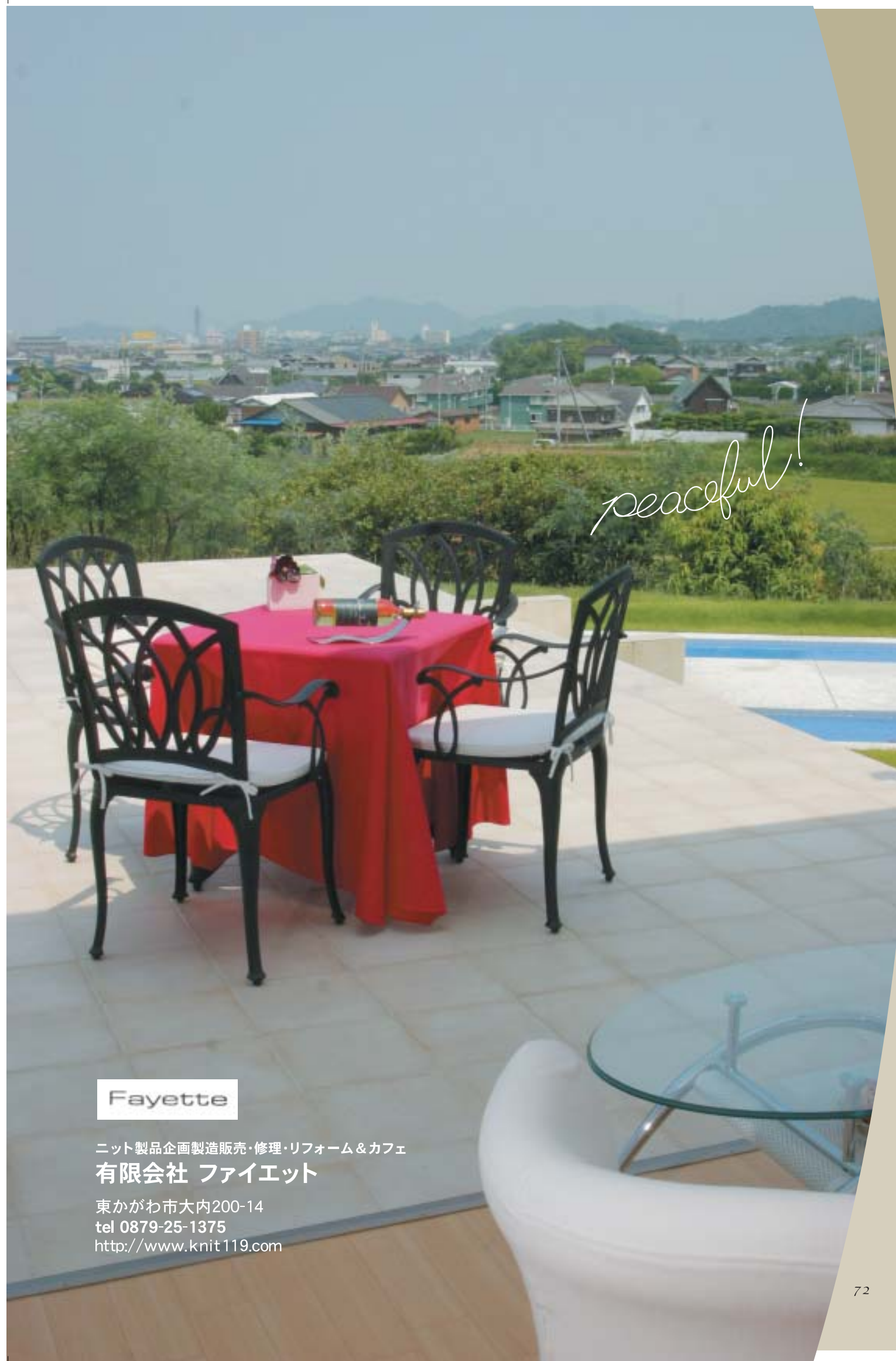
ファイエットが全国の小売店に信頼されている大きな理由は、工場から直接卸す「マンツーマン営業」。一から販路を開拓していくのは骨の折れる作業だが、河川社長自らが直接販売店に出向き、自社ブランドの訴求に努める。さらに、ニット製品の補修や寸法直しなどを行う「ニット119番」を立ち上げ、お客さんそれぞれに思い入れのあるニットやカシミア製品などを、高い技術力によって直してきた。それらに共通する思いは「人とのつながり」だ。

「サービスこそがブランドですから」と言う河川社長。そうやって人と向き合

合い、地道に商売を積み重ねてきた。そしてそれは、一緒に働くスタッフに対して、同じことが言える。ファイエットの一日は、スタッフ全員でのコーヒータイトから始まる。窓の外に見える優雅な風景を眺めながら、ひとりひとりが、仕事やプライベートの話に花を咲かせる。「仕事も遊び感覚が重要です。せつかく緑があつて、みんなここで働いてくれているんですから、全てに誇りある時間だと思いますね」。そんな社長の思いは、当然スタッフにも届いている。だからこそ、仕事も家庭も大切に。だからこそ、お客さんのニーズをつかむことができる。

「いろんな人が集まってくれたらいいですね。カフェはどなたにでも利用していただくことができますから。この景色をね、素晴らしい景色を地元の人にこそ知ってほしいなあ」。

この肩肘張らないスタイルこそが、ファイエットの、また河川社長の世界観。そこに触れると、不思議と南欧の風が抜けていくように、感じる。



Fayette

ニット製品企画製造販売・修理・リフォーム&カフェ
有限会社 ファイエット

東かがわ市大内200-14
tel 0879-25-1375
http://www.knit119.com